

ときがわ町活性化促進事業

—No.51 ときがわ町—

【事業の目的】

無人駅となった明覚駅やその周辺を活用することで観光客やサイクリストの拠点、Wi-Fiを整備することによるインバウンドの増加、さらに地域住民が集う場所として整備し地域の活性化を図ることを目的としています。

【事業の内容】

駅舎内の無人駅化以前に駅務室として使用されていた施設の一部を改修し、観光案内所を設置する。

また、観光客だけではなく通勤・通学での利用者や近隣住民が立ち寄れるようフリースペースや駐輪場を整備するものです。

【事業年度】

令和2年度

【予算額(千円)】

30,000千円

【財源】

ふるさと創造資金（県）及び一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

明覚駅は町内唯一の鉄道駅で、バスやタクシーの乗降場所でもあり利用者は主に通勤・通学者である。鉄道・バス・タクシーと交通手段が揃っているが、ときがわ町の玄関口としての利点を活かせていません。

また、平成16年に開催された第59回国民体育大会で自転車ロードレースのコースになったことや、サイクルフェスタなどによりサイクリストが年々増加傾向にあるが、観光分野に繋がられていないことが課題で事業に取り組むこととしました。

【事業のPRポイント】

無人駅化により使われなくなった駅務室の一部を改修し、観光協会の事務所とすることで、観光客、通勤・通学での利用者や近隣住民が立ち寄るスペースとし、町の玄関口である明覚駅前に賑わいを生み、地域の発展に繋げる。

【事業実績・成果・今後の展開】

ときがわ観光の拠点として、季節や目的に合わせて観光客を効果的に誘導することができます。また観光客だけではなく、近隣住民が日ごろから集うことによって周辺地域の活性化を図ります。

【参考資料】



〔 連絡先 〕

企画財政課 政策担当 0493-(65)1521 (内線2234)